
2015年7月期 決算説明会

包装システムのトータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社



証券コード: 6267

目次

I. 事業環境

II. 2015年7月期決算概況

III. 中期経営計画ならびに
2016年7月期業績見通し

IV. 経営戦略の主な取組み状況

V. 参考資料

事業環境

- ・生産金額は高水準が続く
- ・生産台数は横ばい

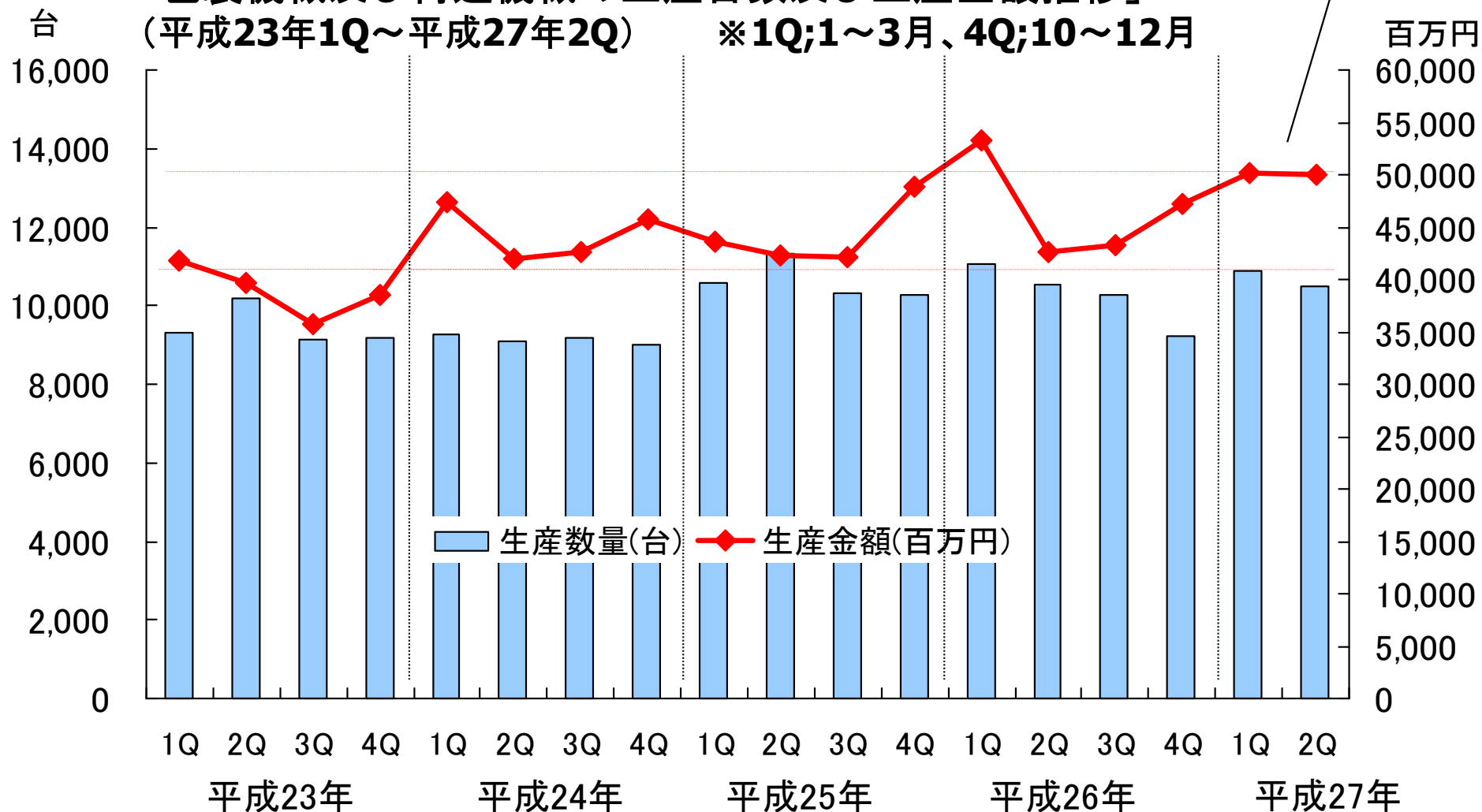
平成27年上半期計
 生産金額
 前年同期比4.2%増
 生産台数
 前年同期比1.2%減

経済産業省 生産動態統計

「包装機械及び荷造機械の生産台数及び生産金額推移」

(平成23年1Q～平成27年2Q)

※1Q;1～3月、4Q;10～12月



事業環境と現状認識

<包装機械業界>

- 国内の設備投資需要は堅調に推移
中小企業の設備投資も回復基調
- 平成26年度(H26.4~H27.3)輸出高は、**436億円**(前年度比**28億円増**)
となり、2年連続で過去最高を更新
- 業界全体の平成26年度の生産高は、**4,000億円**(前年度**3,937億円**)を
超える見通し
※(一社)日本包装機械工業会 生産高統計

<当社の動向>

- 国内、海外ともに需要が好調に推移し、販売台数が大きく増加したことから、
売上高は3期連続で過去最高となる。
- 海外市場向けは、大型案件の実績も有り、アジア市場向けが大きく伸びたことから、
機械売上高は、前期比約**3倍の13億円**となる。
- 大型案件の件数及び受注額が減少したことから、
機械受注高は、過去最高の前期を大きく下回る。
機械受注残高も、前期から減少。

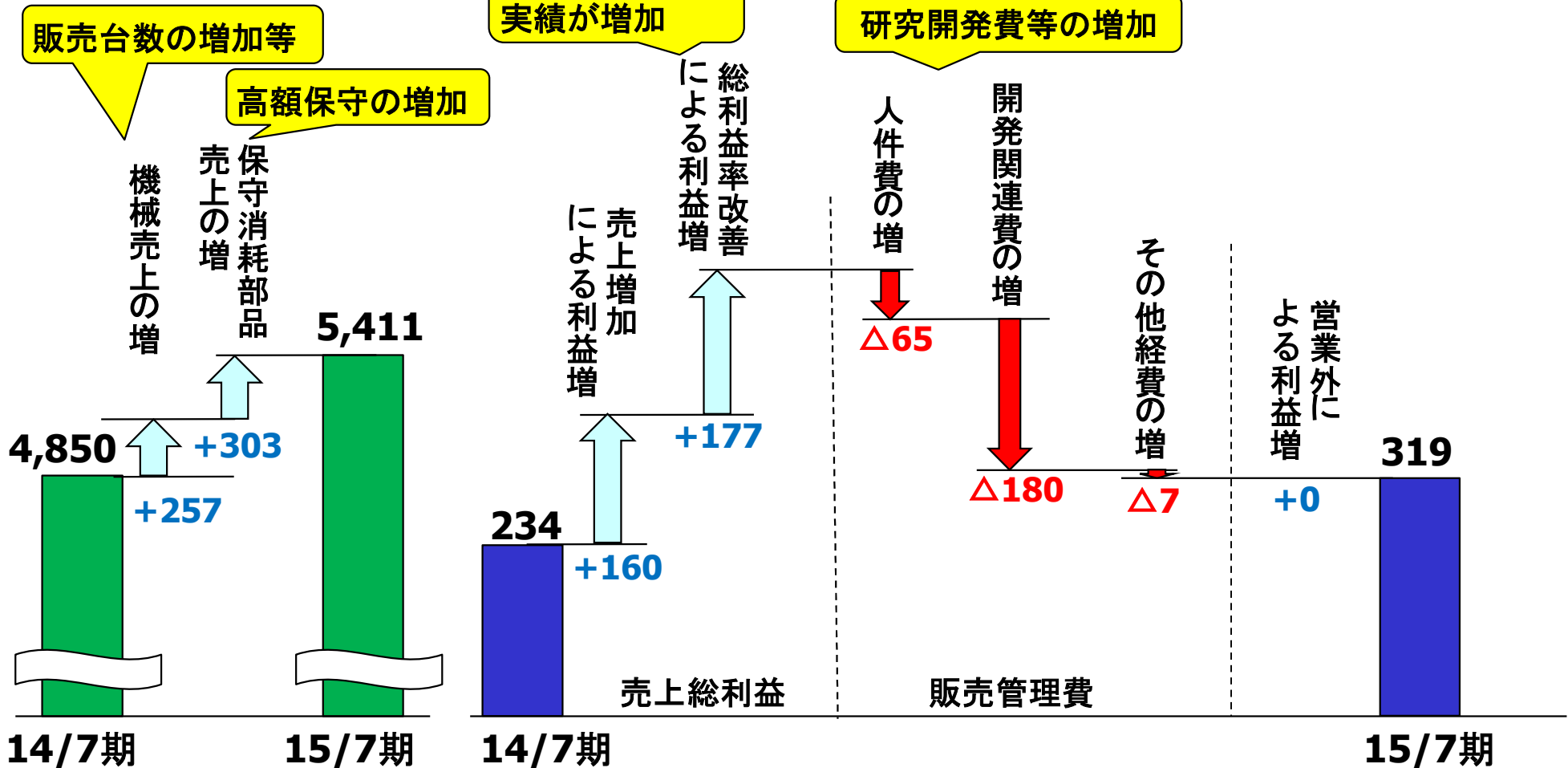
II. 2015年7月期 決算概況

2015年7月期 決算のポイント

売上高
560百万円の増収

経常利益増減要因(前期比) 85百万円の増益

(単位:百万円)



期初予想比; 911百万円増収、109百万円増益

2015年7月期 決算概要

(単位:百万円、%)

	2014年7月期		2015年7月期		前期比増減		2015年7月期計画 (注)		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率	金額	計画比	率
売上高	4,850	100.0	5,411	100.0	+560	+11.6	5,100	+311	+6.1
売上総利益	1,204	24.8	1,542	28.5	+337	+28.0	1,393	+149	+10.7
営業利益	229	4.7	314	5.8	+84	+36.9	295	+19	+6.4
経常利益	234	4.8	319	5.9	+85	+36.3	300	+19	+6.6
当期純利益	160	3.3	224	4.1	+64	+40.1	200	+24	+12.0

(注)2015年3月3日第2四半期決算発表時の修正計画

増収・増益

- 販売台数が大幅に増加したことから、売上高は前期比560百万円の増収。
海外市場向け及び保守案件の実績が増加したことから、計画比311百万円増加。
- 高粗利益案件の実績が増加したことから、売上総利益率は3.7ポイント改善。
売上総利益は、増収効果により、前期比337百万円増加。
- 販管費は、研究開発費等の増加に伴い、前期比252百万円増加。計画比130百万円増加。
- 経常利益は、計画を上回り、前期比85百万円の増益。
- 当期純利益は、計画を上回り、前期比64百万円の増益。

品目別売上内訳

(単位:百万円、%)

	2014年7月期	2015年7月期	前期比増減		2015年7月期 計画 (注)
			金額	率	
給袋自動包装機	1,779	2,248	+468	+26.3	2,210
製袋自動包装機	497	689	+192	+38.6	670
包装関連機器等	1,604	1,201	△403	△25.1	1,170
保守消耗部品その他	968	1,272	+303	+31.3	1,050
合計	4,850	5,411	+560	+11.6	5,100

※給袋自動包装機は、ガス充填自動包装機を含む

(注)2015年3月3日第2四半期決算発表時の修正計画

前期比：+560百万円、+11.6%

自社機売上高(給袋自動包装機、製袋自動包装機)が増収。

- ・給袋自動包装機： +468百万円・・・販売台数が大幅に増加
- ・製袋自動包装機： +192百万円・・・高機能機種の販売台数が増加。
- ・包装関連機器等： △403百万円・・・大型包装システムの実績が減少
- ・保守消耗部品その他： +303百万円・・・高額保守案件の実績が増加

機械売上
+257

- ・機械売上高 計画比 +88百万円・・・海外向け実績が増加
- ・保守消耗部品 計画比 +222百万円・・・国内・海外とも保守の増加

四半期売上高

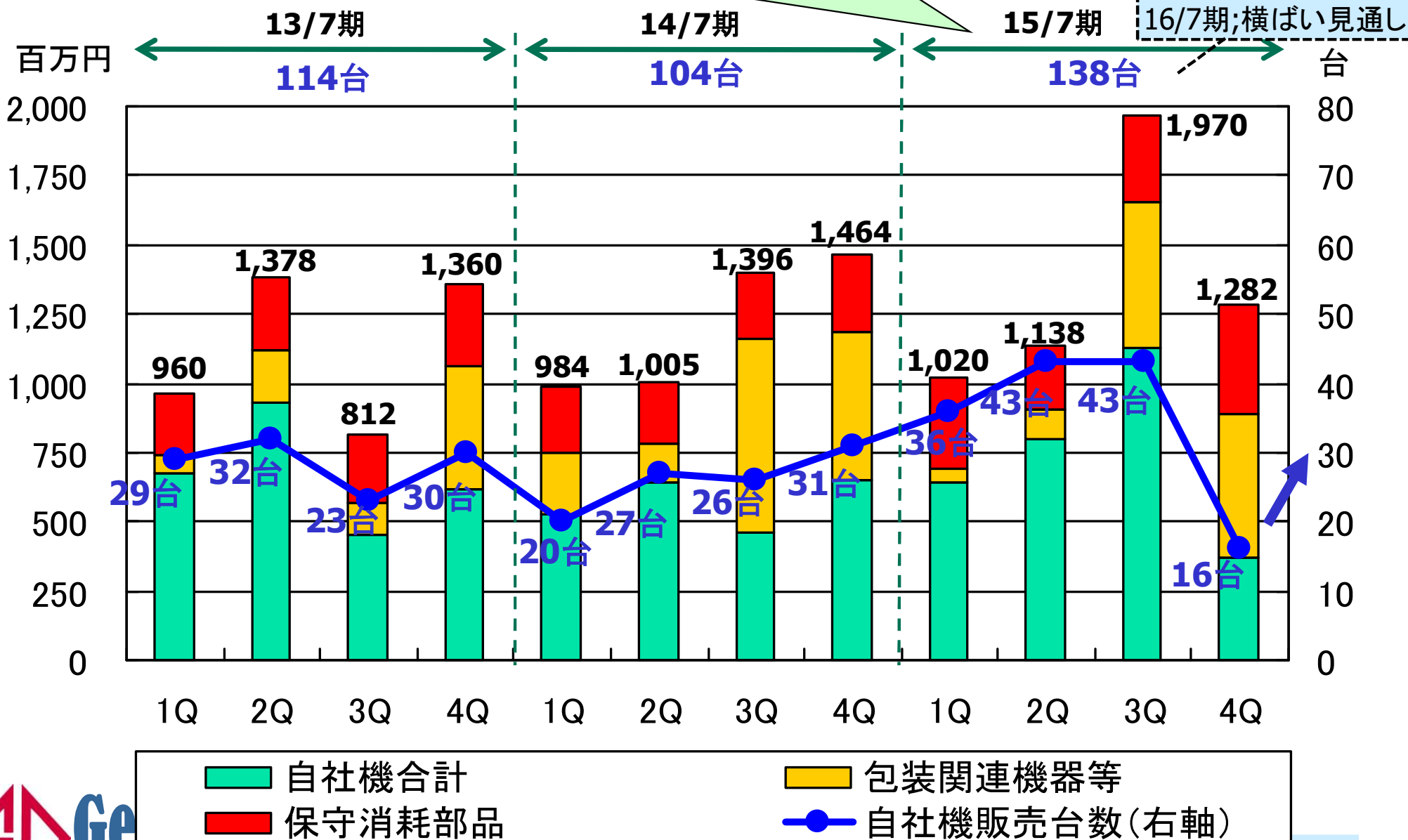
大型案件の有無、高額機種の販売台数により、
四半期売上高は大きく変動

15/7月期実績

自社機販売台数 前期比+34台

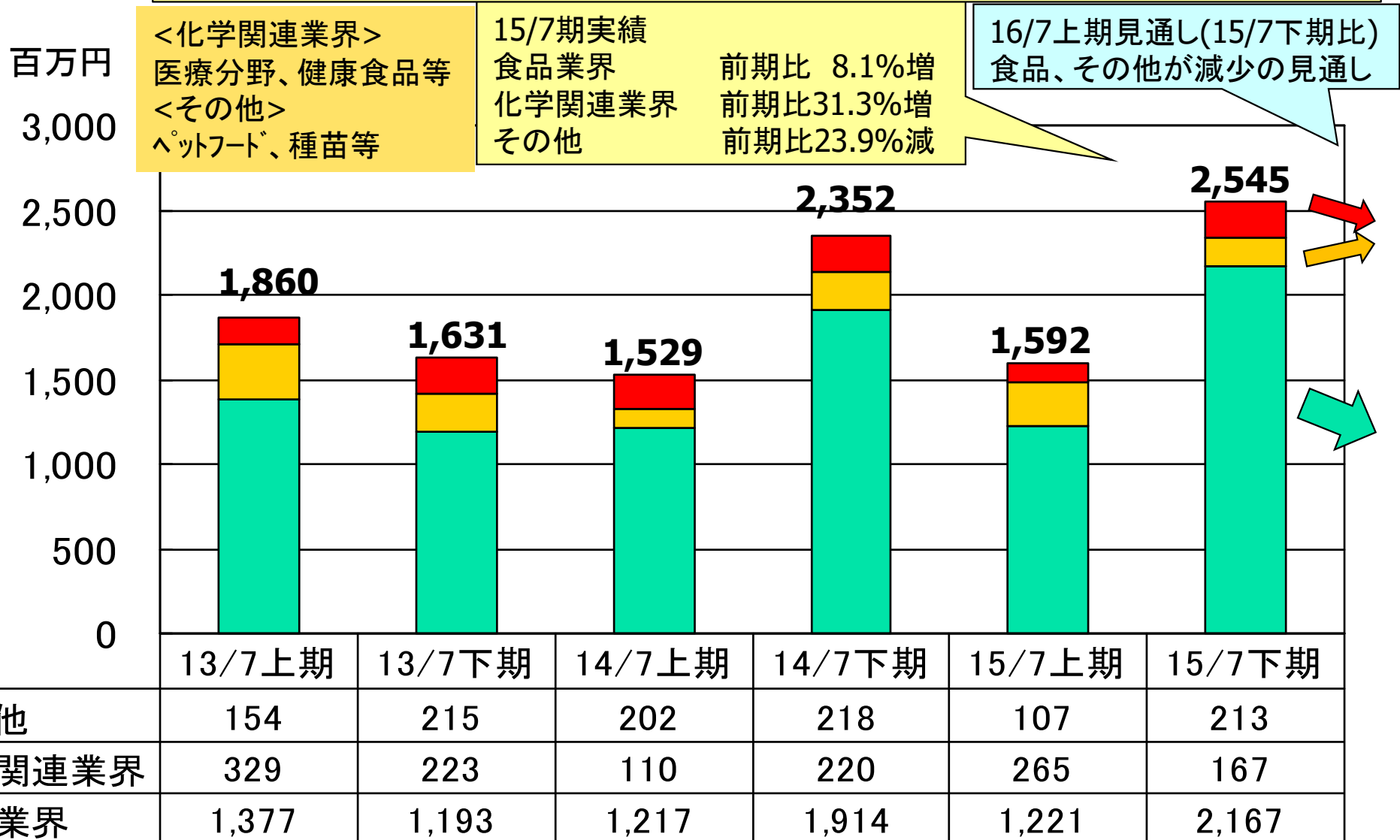
自社機売上高 前期比+660百万円

※(給袋自動包装機<ガス充填自動包装機含む>、製袋自動包装機の合計)



エンドユーザー業界別売上高

食品業界・化学関連業界の増加により、機械売上高は前期比6.6%増



国内/海外市場別売上高

(エンユーザー市場)

16/7上期(15/7下期比)
 ・国内市場 増加の見通し
 ・海外市場 減少の見通し

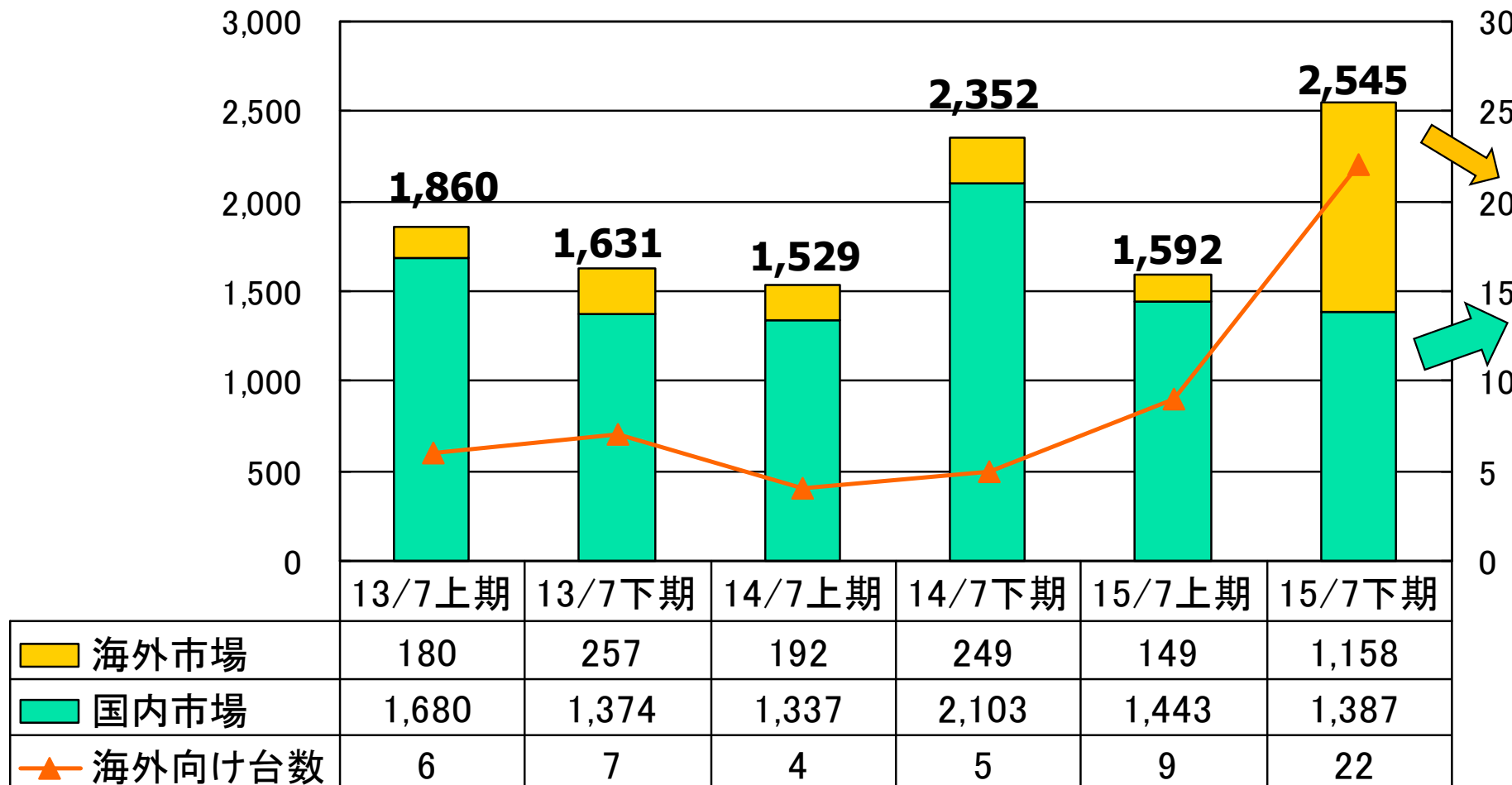
15/7期実績 機械売上高

国内市場 2,830百万円 前期比 △609百万円

海外市場 1,307百万円 前期比 +867百万円

百万円

台



※ 自社機台数

(注) 売上高は、機械の売上高のみ

海外市場向けの売上高(部品含む)

(エンドユーザー地域別)

百万円

<アジア市場>

中国・東南アジアが中心
・日系企業、現地企業

<北米・南米、欧州市場>
ドライペットフード向けが中心

15/7期実績 前期比+904百万円

アジア 前期比 +1,057百万円

北米・南米 前期比 △175百万円

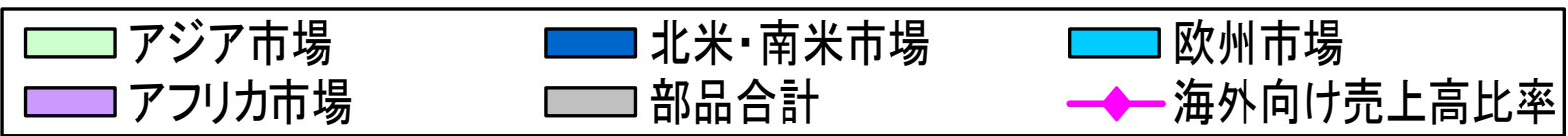
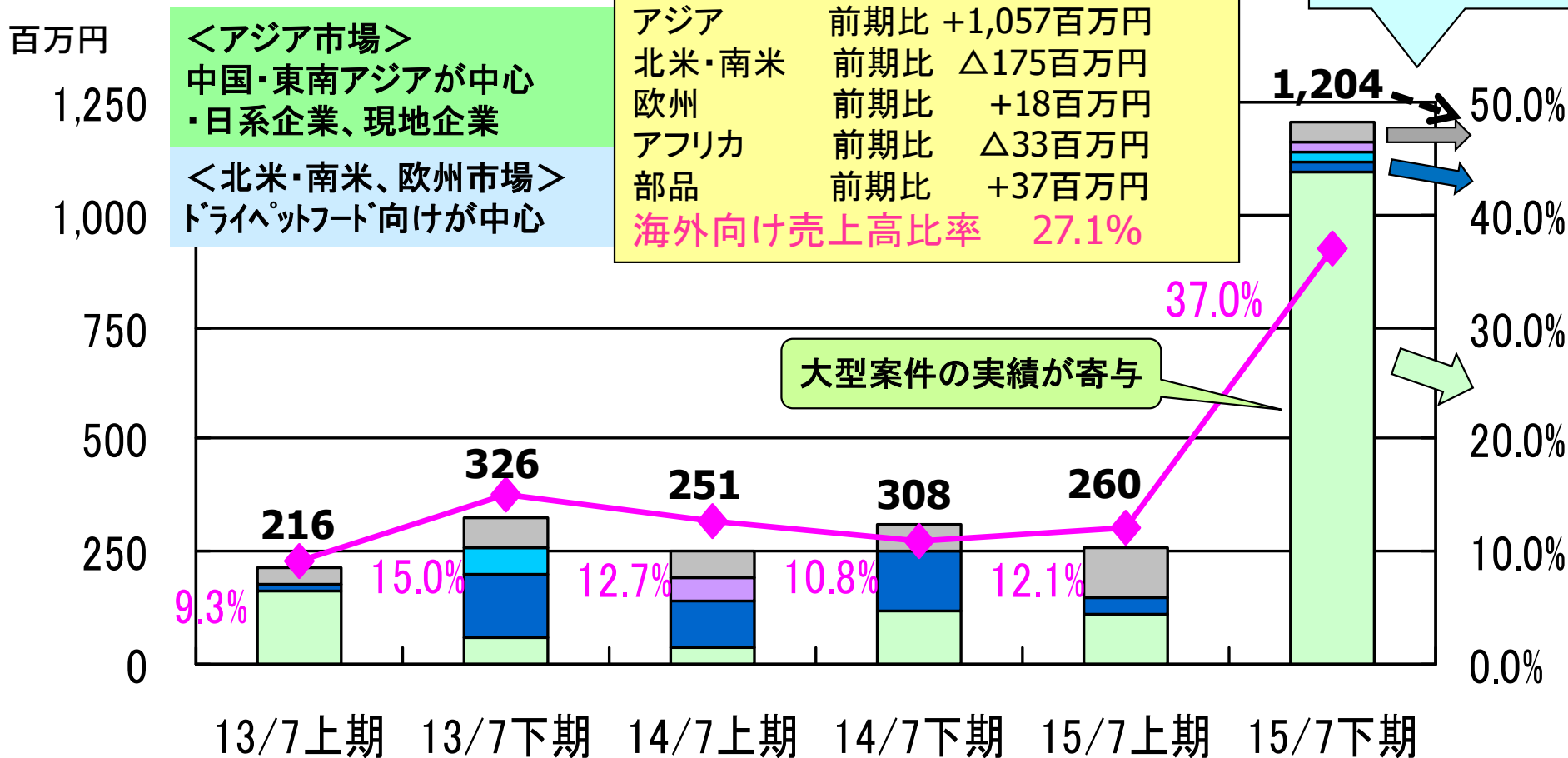
欧州 前期比 +18百万円

アフリカ 前期比 △33百万円

部品 前期比 +37百万円

海外向け売上高比率 27.1%

16/7上期(15/7下期比)
アジアが大きく減少の
見通し
全体として大幅な減少

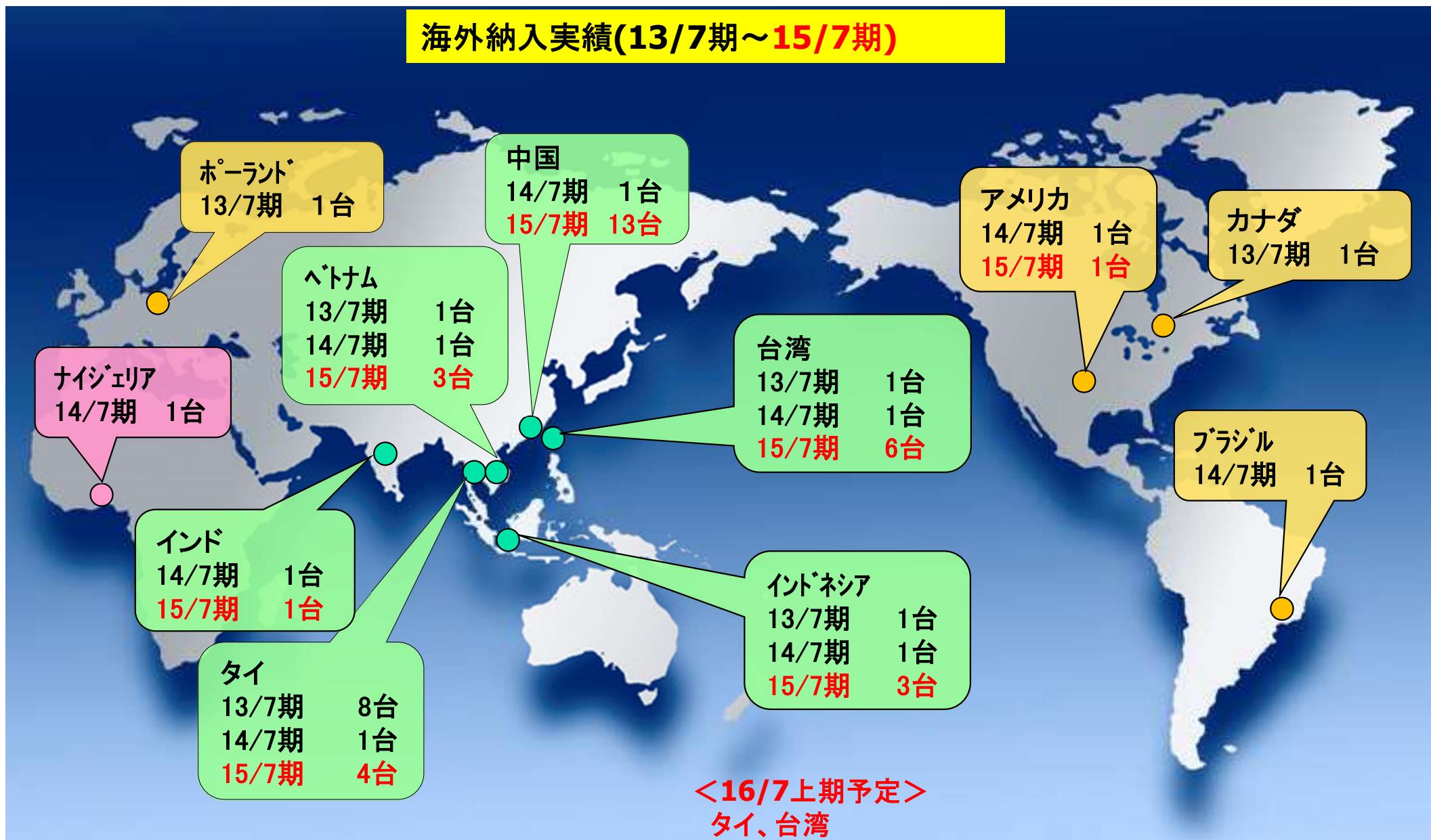


※機械売上高;エンドユーザー地域別

海外市場向け 国別実績

※ 自社機台数

海外納入実績(13/7期~15/7期)

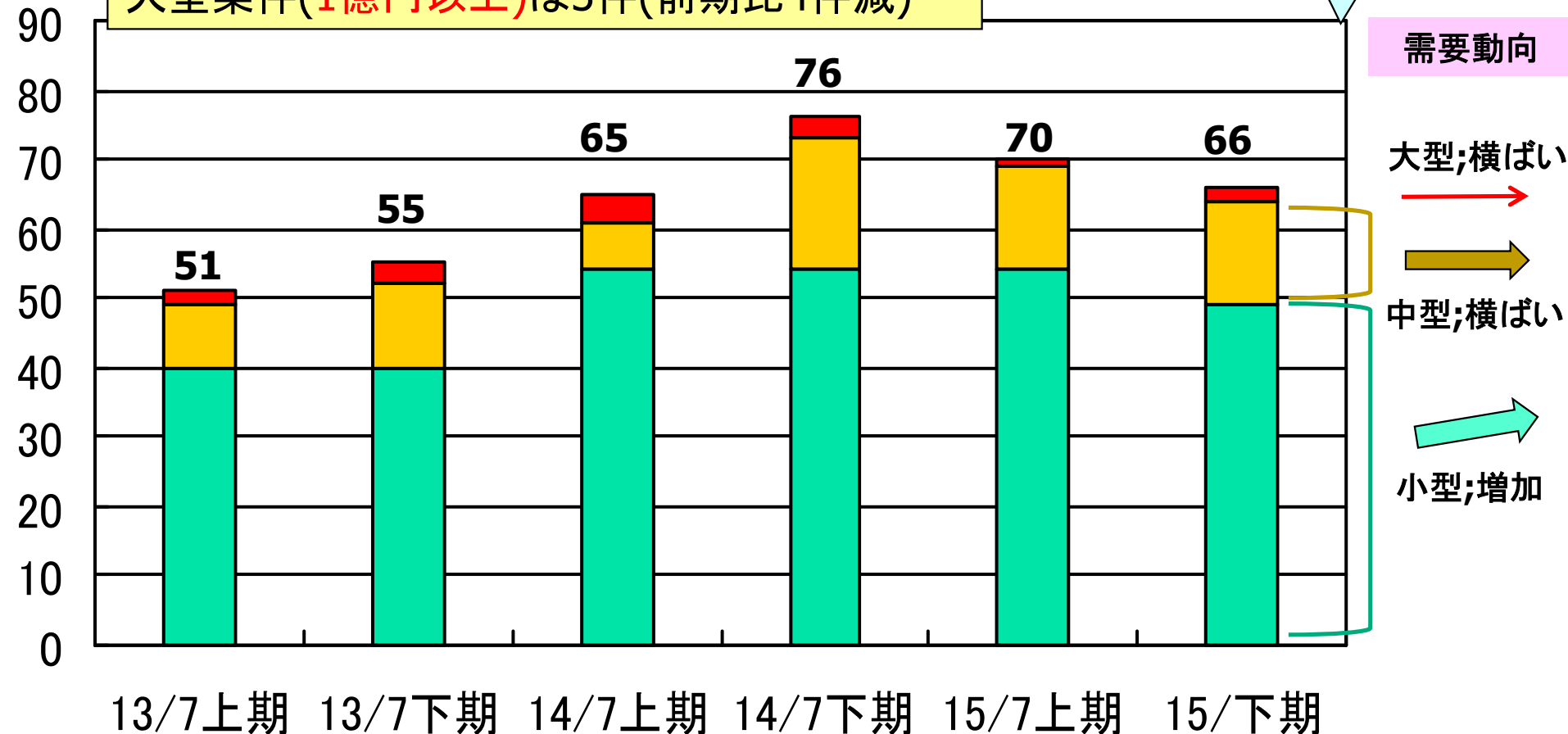


機械の受注件数

<16/7上期計画>
大型案件の確保と
受注件数の増加を
目指す

件数

受注件数は前期比5件減
大型案件(1億円以上)は3件(前期比4件減)



1件当たりの
受注金額の層別

■ 30百万円未満
■ 1億円以上

■ 30百万円-1億円未満

機械の受注動向

15/7期 四半期受注高

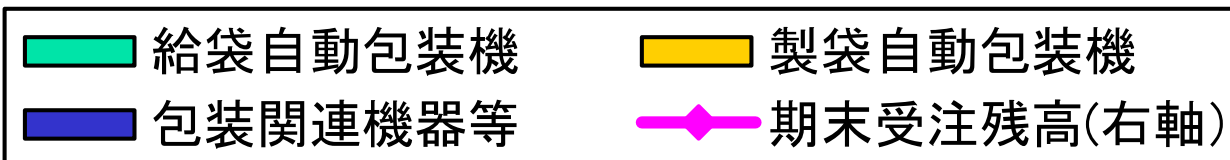
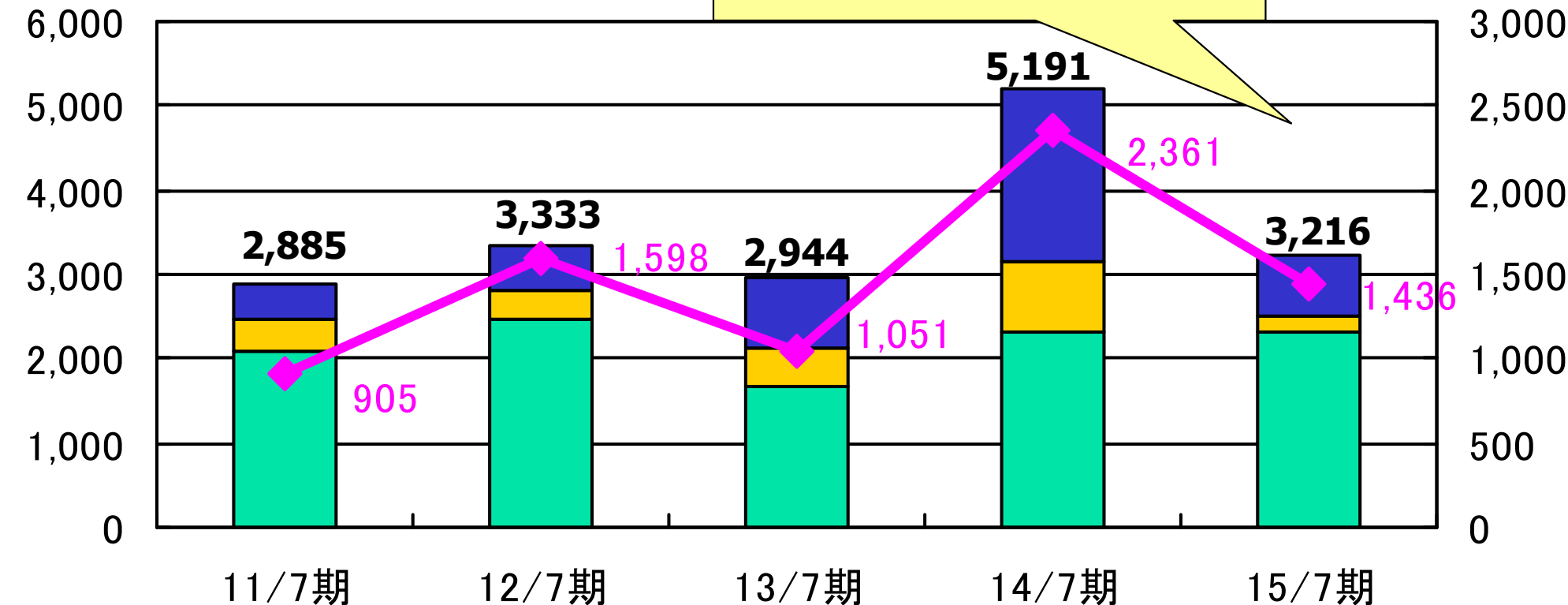
1Q	2Q	3Q	4Q
1,156	621	443	996

大型案件が減少したことから、
受注高は前期比38.0%減

機械受注高 前期比△1,974
機械受注残高 前期比 △924

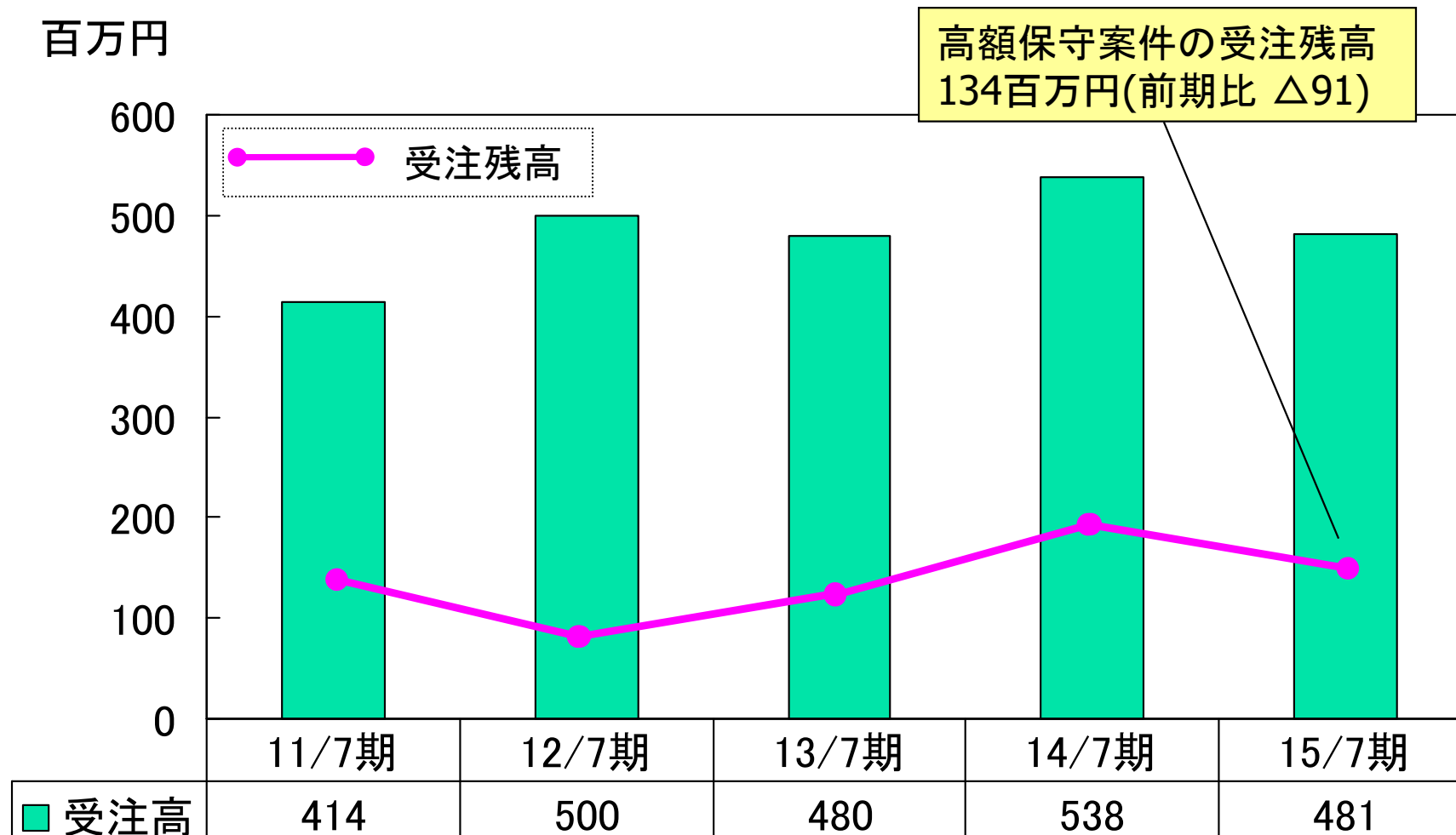
受注残高

百万円



高額保守案件の受注高推移

高額保守案件:百万円以上/件の保守・改造



注)印字機・検査装置等の仕入機器の費用も含む

仕入機器の販売のみの場合は、包装関連機器等に計上

販売費及び一般管理費

研究開発費等の増加により、前期比25.9%増

百万円

1,400

1,200

1,000

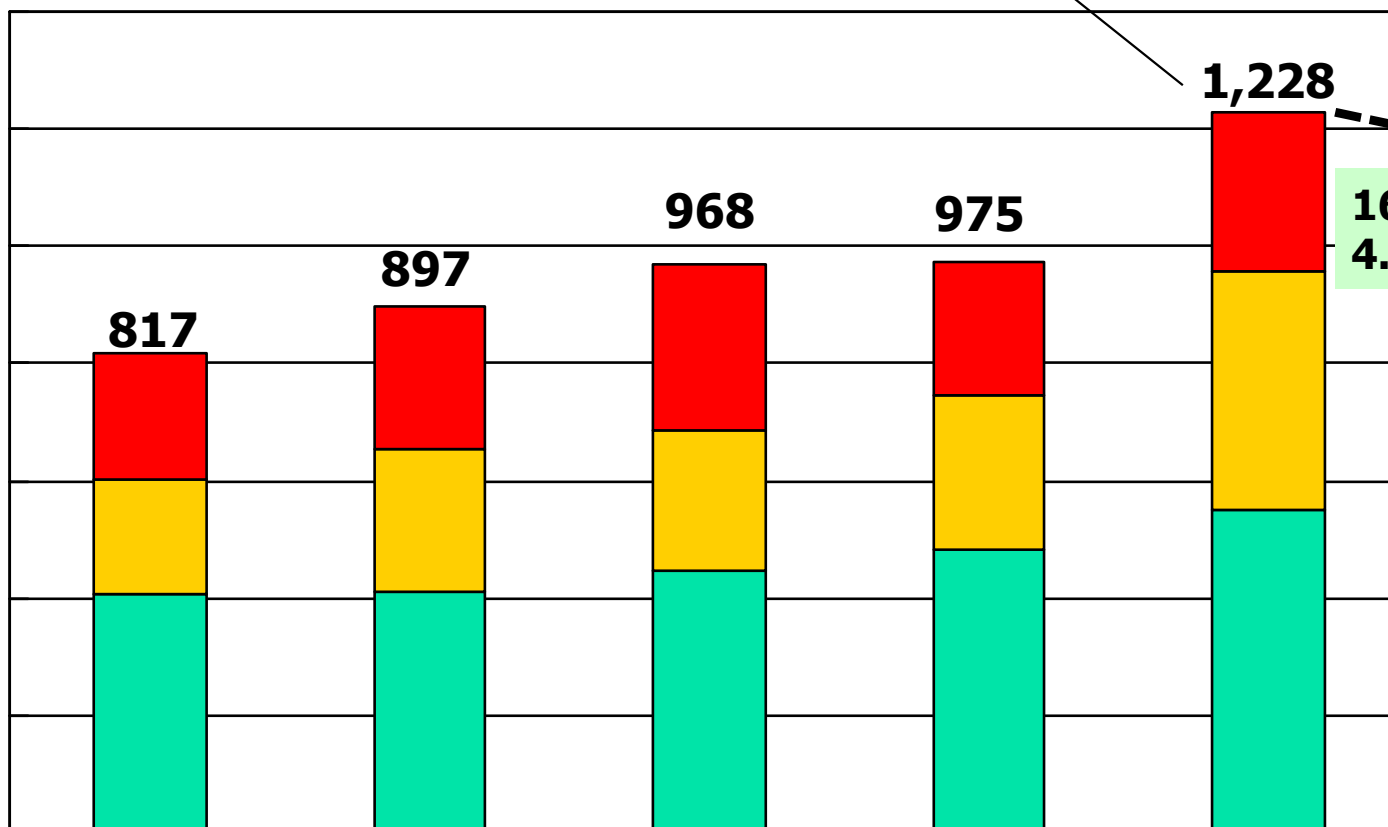
800

600

400

200

0



16/7期
4.0%減の見込み

■ その他	214	243	281	229	269
■ 戦略経費	195	241	239	261	409
■ 人件費	408	412	448	484	549

(注) 戦略経費: 広告宣伝費、減価償却費、販売促進費、開発関連費、求人費、業務委託費等の合計

Ⅲ. 中期経営計画ならびに 2016年7月期業績見通し

第4次中期経営計画(2015年7月期～2017年7月期)

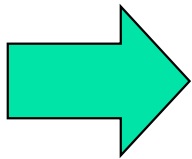
◆中期経営ビジョン

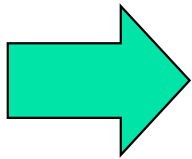
海外市場での成長基盤構築の時期

1. 世界に飛躍するGPブランド
2. **One stop**で応えるソリューションカンパニー
3. 挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

◆中期数値目標

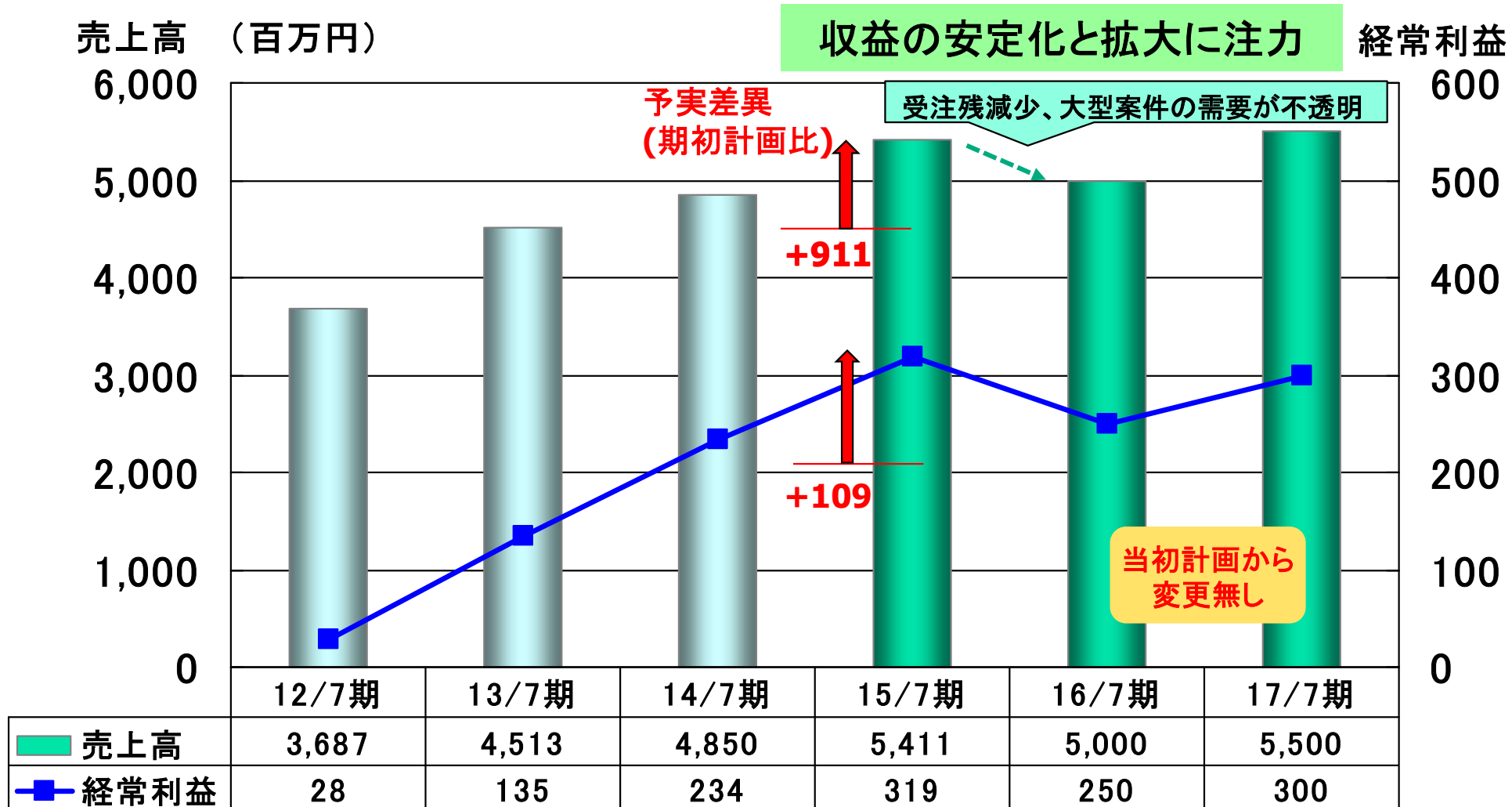
第3次中計実績

	14/7期実績		17/7期目標
売上高経常利益率	4.8%		5.5%以上
ROA(総資産経常利益率)	4.7%		5.5%以上
ROE(自己資本当期純利益率)	5.5%		6.0%以上

	14/7期実績		17/7期目標
売上高	4,850百万円		5,500百万円
営業利益	229百万円		295百万円
経常利益	234百万円		300百万円
当期純利益	160百万円		200百万円

業績計画

第3期(17/7期)の数値については、事業環境と業績動向を踏まえて、ローリングする場合あり



← 第4次計画 →

事業計画モデル(第4次中計)

売上高(単位:百万円)	14/7期実績	15/7期実績 (期初計画比)	16/7期計画	17/7期計画
国内市場 (機械)	3,440	2,830 (△69)	3,200	3,500
海外市場 (機械)	440	1,307 (+707)	800	1,000
保守消耗部品	970	1,272 (+272)	1,000	1,000
合計	4,850	5,411 (+911)	5,000	5,500

大型案件が集中

大型案件の実績
販売台数の増加

高額保守の増加

海外市場
大型実績(15/7期)に対する反動減

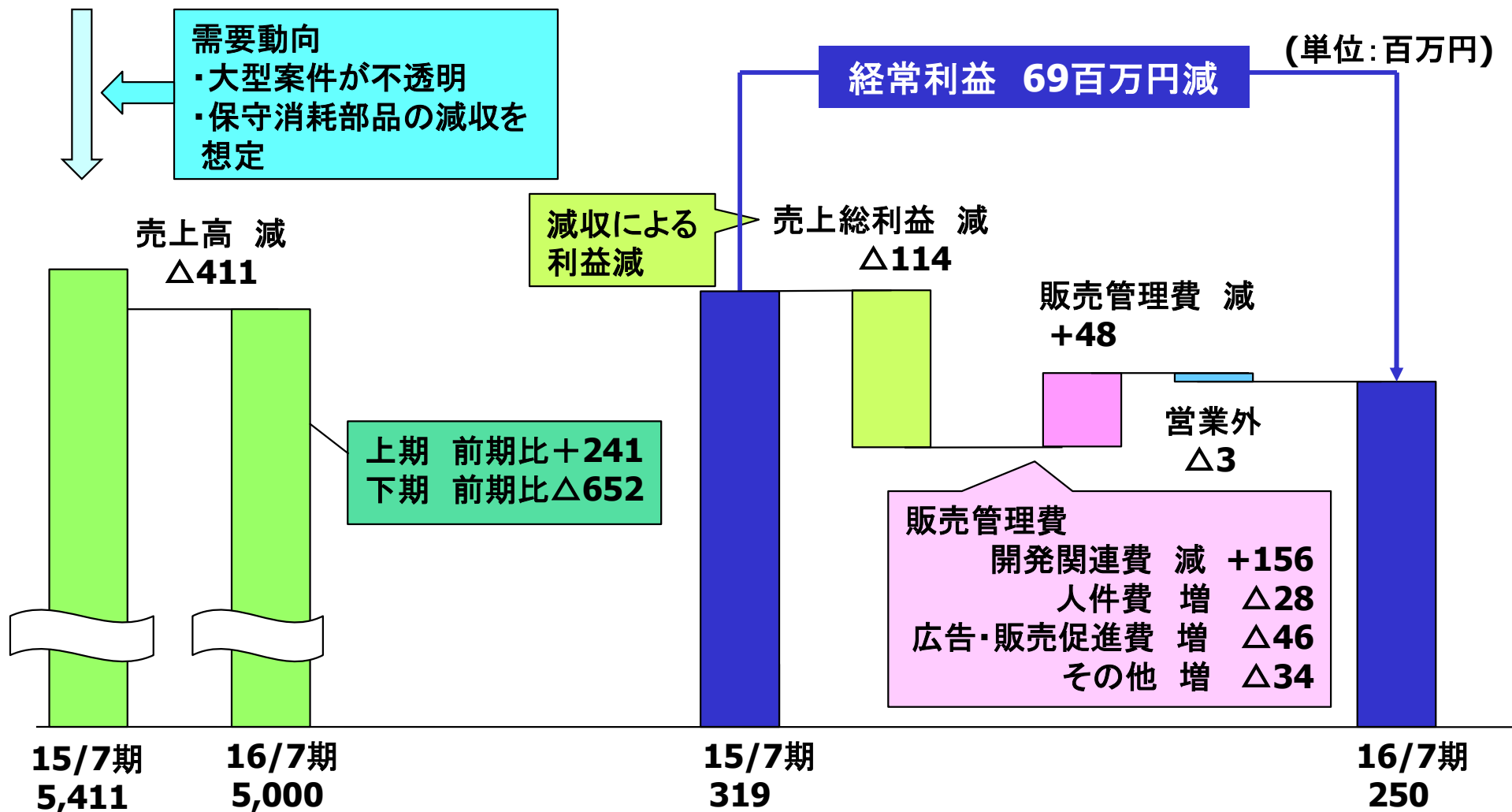
2016年7月期 業績見通し(概要)

機械受注残高 前期比 $\Delta 924$
 高額保守受注残高 前期比 $\Delta 91$

海外大型実績の反動減により、減収・減益の見通し

需要動向

- ・大型案件が不透明
- ・保守消耗部品の減収を想定



2016年7月期業績予想

(単位:百万円、%)

	2015年7月期		2016年7月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	5,411	100.0	5,000	100.0	△411	△7.6
売上総利益	1,542	28.5	1,428	28.6	△114	△7.4
営業利益	314	5.8	248	5.0	△65	△20.9
経常利益	319	5.9	250	5.0	△69	△21.8
当期純利益	224	4.1	165	3.3	△59	△26.5

減収・減益

- 海外向け売上高が減収 (大型案件が減少)
- 売上高は前期比7.6%減の50億円を見込む
- 売上総利益率は、前期とほぼ同水準の28.6%
- 販管費は、研究開発費などの減少により前期比4.0%減少
- 経常利益率は前期比0.9ポイント低下し5.0%
- 当期純利益は、前期比59百万円減の165百万円を計画

2016年7月期品目別売上予想

(単位:百万円、%)

	2015年7月期		2016年7月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
給袋自動包装機	2,248	41.6	2,644	52.9	+396	+17.6
製袋自動包装機	689	12.7	408	8.1	△281	△40.8
包装関連機器等	1,201	22.2	947	19.0	△253	△11.1
保守消耗部品その他	1,272	23.5	1,000	20.0	△272	△11.4
合計	5,411	100.0	5,000	100.0	△411	△7.6

※給袋自動包装機は、ガス充填自動包装機を含む

品目別売上高見通し

前期比：△411万円、△7.6%

給袋自動包装機売上高は増加するものの、その他品目が減少。

- 給袋自動包装機: +396百万円・・・高額案件の増加
- 製袋自動包装機: △281百万円・・・高機能機種の販売台数が減少
- 包装関連機器等: △253百万円・・・大型包装システムの減少
- 保守消耗部品その他: △272百万円・・・高額保守の減少

自社機売上
+115

株主還元

中期配当政策

- 株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、配当性向**50%**または純資産配当率(DOE)**2%**を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指す。

	2013/7期	2014/7期	2015/7期	2016/7期予想
中間配当	3.50円	3.50円	4.00円	3.50円
期末配当	3.50円	3.50円	5.00円	17.50円 ※
年間配当	7円	7円	9円	—
当期純利益/株	10.34円	18.03円	25.26円	92.83円 ※
配当性向	67.7%	38.8%	35.6%	37.7%
DOE	2.2%	2.1%	2.6%	2.0%

※2016/7期予想 <2016年2月1日を効力発生日として、5株につき1株の株式併合を実施する予定>

期末配当、当期純利益/株は、株式併合を考慮した予想数値

同時に単元株式数を変更

●株式併合を考慮しない場合 期末配当 3.5円 年間配当 7円

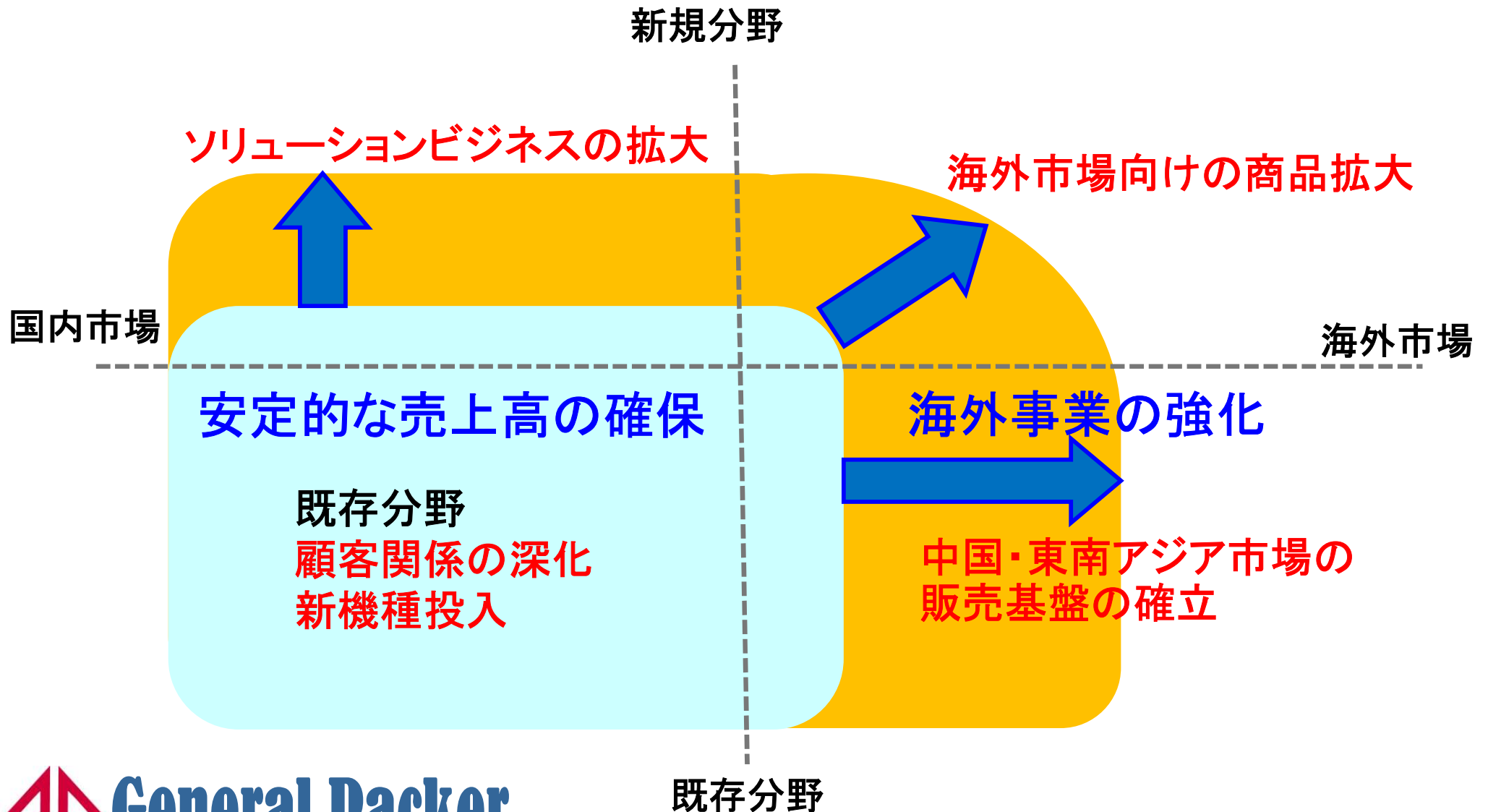
1,000株 ⇒ 100株

当期純利益/株 18.57円

IV. 経営戦略の主な取組み状況

基本戦略

「持続的成長に向けてグローバル企業を目指す」



基本戦略

- ①顧客関係の深化と新機種投入により、国内市場で安定的な売上高を維持する
- ②海外事業を強化し、海外市場向け売上高の大幅な伸長を目指す
- ③顧客の期待にワンストップで応え、ソリューションビジネスの拡大を図る
- ④競争力強化と海外市場開拓のための商品開発を推進する
- ⑤顧客が安心して生産活動できる包装システムとサービスの提供で、顧客満足度を得る
- ⑥事業領域拡大のためのM&A・アライアンスを推進する

主な経営施策

販売戦略

- ①グローバル企業及び国内企業海外拠点への企画提案営業の強化
- ②中国・東南アジア市場の販売基盤の確立
- ③次世代包装機販売と顧客関係の深化
- ④問題解決型企业として、顧客の悩み事に素早く対応

開発・技術戦略

- ①次世代包装機及び海外市場向け新機種の開発
- ②メカトロモーション技術の新たな創造
- ③新しいコア技術の追求による差別化の推進
- ④設計の標準化及び構成部品の共通化を推進
- ⑤人材育成による開発力・トータルプラン力の強化

販売戦略

海外事業の強化

■ 海外営業部の体制強化

15/7期 増員を実施

■ 販売基盤の確立

< 中国市場 >

- ・上海駐在員事務所 開所(2015/1月)
- ・代理店 青島ショールーム 開設(2015/3月)
- ・上海展示会への出展(2015/7月)

< 東南アジア市場 >

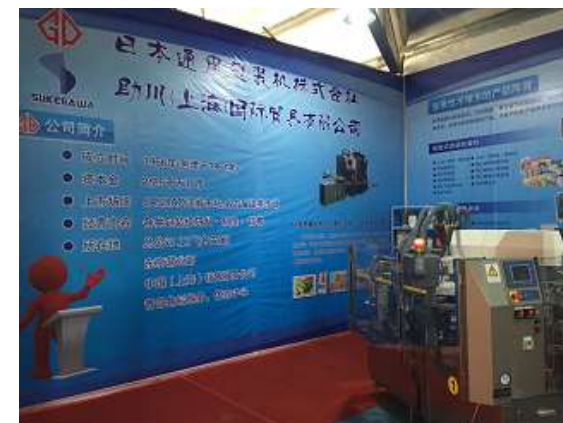
- ・新規販売チャネルの開拓 --- タイ、インドネシア、ベトナム、マレーシア等の調査とアプローチ

■ ペットフード用包装機の拡大(主に欧米市場)

- ・大手メーカーグループへの新機種提案 ⇒ 2機種受注

■ 新規顧客開拓の受注実績

13/7期	14/7期	15/7期
5社 タイ、台湾	5社 タイ、インド、中国	6社 アメリカ、インド、インドネシア、 中国、タイ、ベトナム



青島ショールーム

中国市場の開拓を強化

販売戦略

ソリューションビジネスの拡大

■システムソリューション部新設(2014/8月)

・15/7期

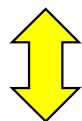
大型及び高額システムの納入・検収実績 6件 ↔



海外で初の大型包装システムの納入実績(中国食品メーカー工場)

■高額システム(30百万円以上)の受注実績

	13/7期	14/7期	15/7期
受注件数	4件	10件	3件
業種	食品(3件)、ペットフード	食品(8件)、医療、健康食品	食品(2件)、医療



↓
内5件は、15/7期売上分

■ロボット応用システムの納入

上記高額システムの一部は、資本業務提携先 ワイ・イー・データのシステムを納入
納入実績(売上期) 13/7期 3件 14/7期 3件 15/7期 3件(計6ライン)

開発・技術戦略

■ 開発テーマ

- ①メカトロモーション技術、コア技術の開発
- ②次世代包装機の開発
- ③特定ユーザー・業種のニーズに対応した新機種の開発 等

15/7期 一部の開発プロジェクト(新分野・新技術への挑戦等)で、想定を大きく超える開発費が発生したことなどにより、研究開発費は計画から大幅に増加

■ 開発実績・計画

時期	機種数	販売台数			対象業種
		13/7期	14/7期	15/7期	
13/7期開発機	7	8	5	1	食品
14/7期開発機	0	—	—	—	
15/7期開発機	3	—	—	3	食品、酒造、ペットフード
16/7期計画	3~4				汎用、ペットフード 等

受注残 1台

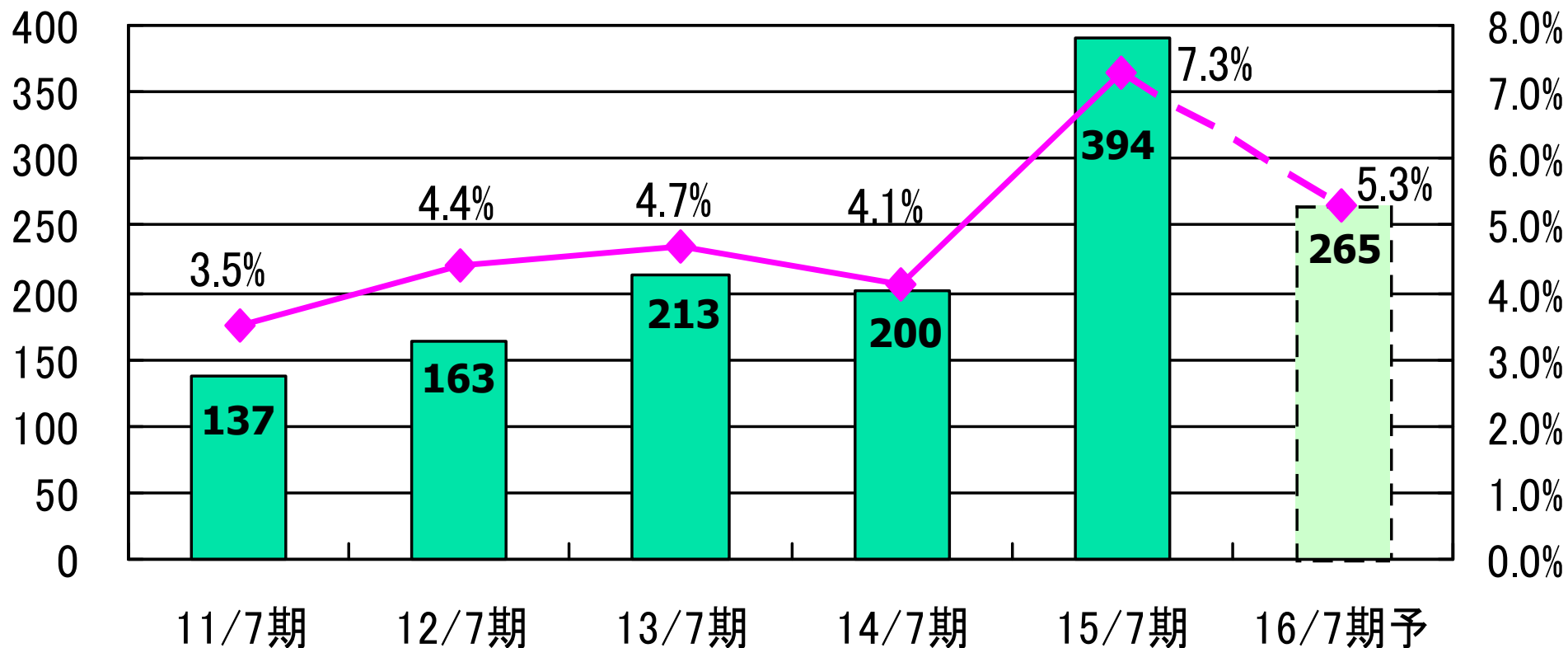
受注残 1台

受注残 2台

研究開発費

15/7期実績;当初計画比 144百万円増
売上高研究開発費比率は、16/7期は5.3%の計画

百万円



■ 研究開発費

◆ 売上高研究開発費比率(右軸)

※研究開発費の内訳;4~5割が人件費

V. 參考資料

包装機械業界

単位:億円

企業数 約420社(専門メーカー 約240社)

中小企業が約9割

機種別	生産高
個装・内装機械	3,306
包装用計量機	204
充てん機	385
びん詰機械	613
製袋充てん機	613
真空包装機	105
その他	1,385
外装・荷造機械	630
ケース詰機	142
その他	488
合計	3,937

需要先別構成比

- ・食品部門 **51.0%**
- ・化学部門 **18.5%**
- ・その他 **20.1%**
- ・輸出 **10.4%**

主な上場企業

専門メーカー:東京自働機械製作所
兼業メーカー:CKD、渋谷工業 等

袋詰用包装機

当社の主力包装機の区分

当社:包装機械の専門メーカー

■ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装機械・システムに特化

- ・高品質・高難易度の包装分野
- ・チャック付袋包装、ガス充填包装等

主な競合先(ロータリー式包装機メーカー)

- ・東洋自動機(非上場):レトルト物の包装が主力
※ナブテスコ連結子会社
- ・古川製作所(非上場):ウェット物・真空の包装が主力

(一社)日本包装機械工業会
「包装機械及び荷造機械生産高統計」
2013年度実績

会社概要(2015年7月31日現在)

■設立 1966年(創業 1961年)

■資本金 251百万円

■発行済株式数 8,994千株

■売買単位 1,000株

■決算期 7月末

証券コード; 6267

東証JASDAQ・名証二部

■事業内容 各種自動包装機の製造・販売

(食品・化学品・健康食品・医療用品等の包装用機械・システム)

■従業員数 131名(その他臨時雇用者19名)

■事業所 本社・工場、東京営業部、上海事務所

■役員 取締役 7名(内 社外1名)

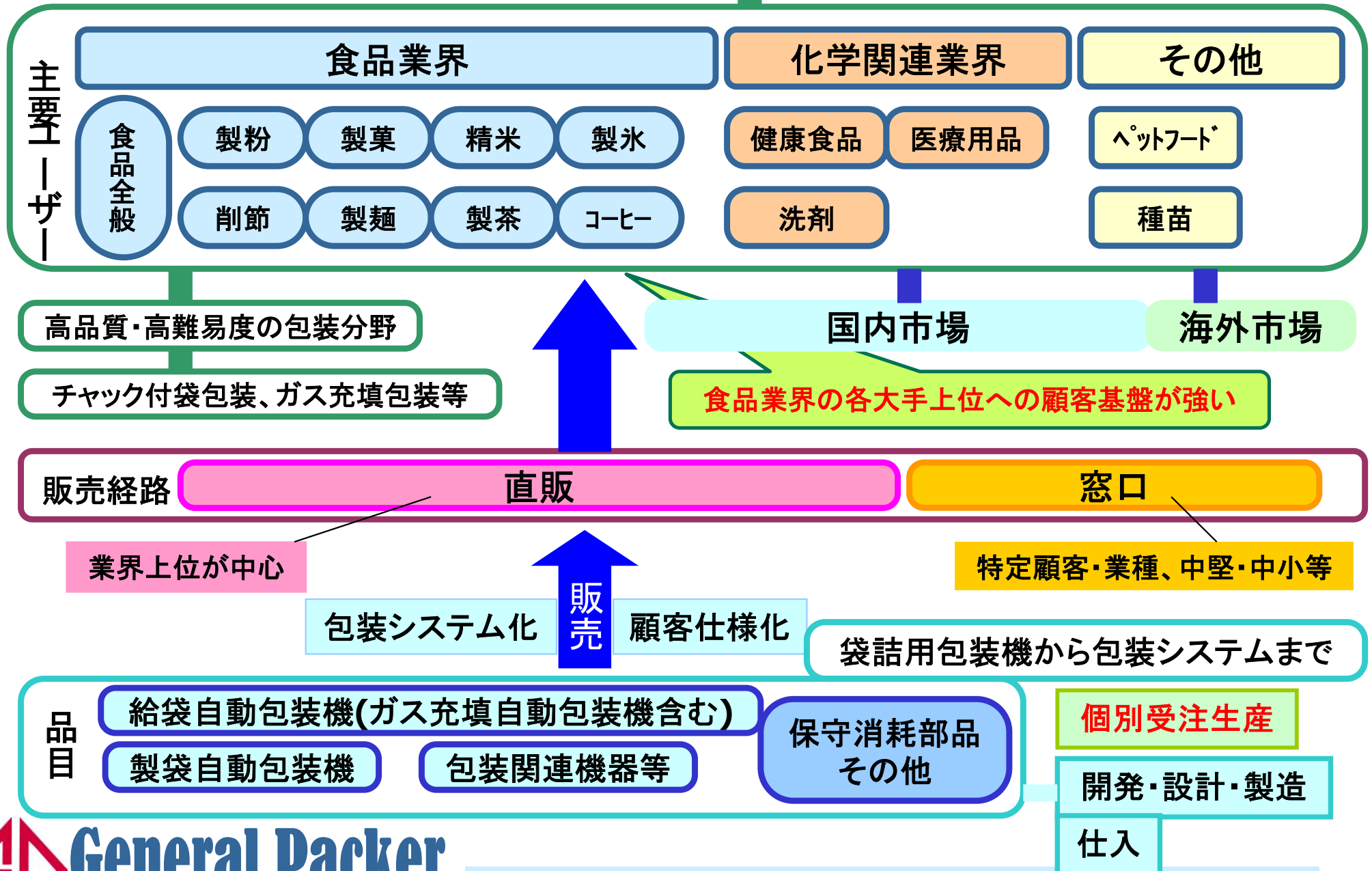
監査役 3名(内 社外3名)

■企業ビジョン

「社会・株主・顧客・取引先・従業員の全てに対し、誠実で透明性の高い経営を実践し、信頼され、支援される企業」の実現

事業内容

主要市場:ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装用機械・システム



品目内容

対象物(粉末・顆粒・固形物等)
を袋に充填して包装する機械



袋詰用包装機

給袋自動包装機

袋



給袋装置

充填・包装装置

菓子類、小麦粉、食品類、調味料、ペットフード、健康食品、医療用品、肥料、粉末薬品、電子部品等の袋詰用包装機。多品種少量生産向け。

ガス充填自動包装機

袋



給袋装置

充填・包装・ガス充填装置

花かつお、ナッツ類等の袋詰用包装機。

製袋自動包装機

フィルム



製袋装置

充填・包装装置

充填物は給袋自動包装機と同様。小袋の高速包装から大袋包装まで。フィルムから袋を作りながら包装する機械。

包装関連機器等

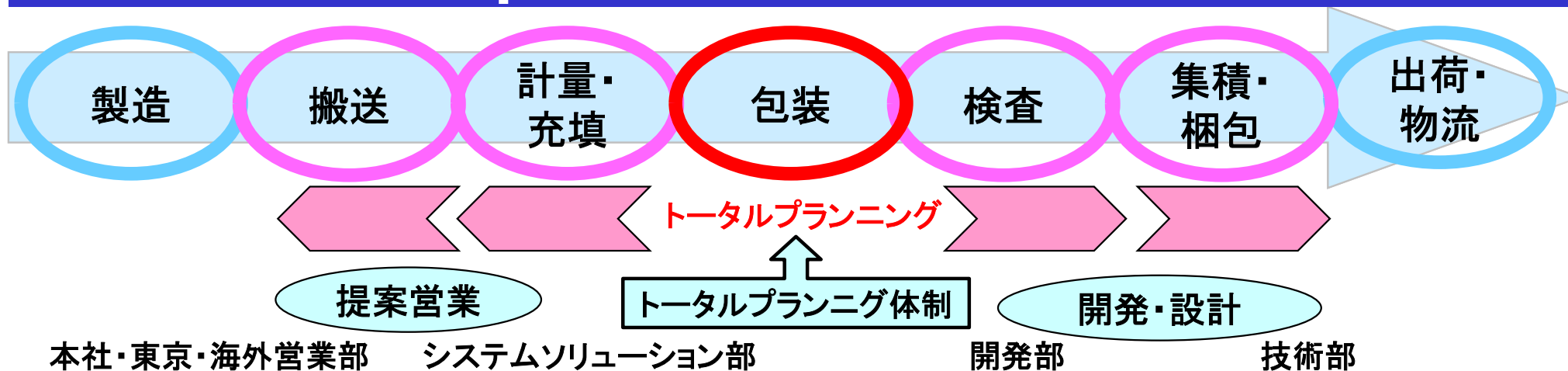
付帯機器(充填機、計量機、計数機、印字機等)、
段ボールケーサー、各種包装システム等

保守消耗部品その他

当社販売機械の保守、修理・交換用部品、
印字機、検査装置等の取付・改造等

(経営ビジョン)

One stopで応えるソリューションカンパニー



挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

人員推移

	10/7期末	11/7期末	12/7期末	13/7期末	14/7期末	15/7期末
従業員	114	119	123	124	127	131
(内 開発・技術部人員)	(28)	(32)	(34)	(38)	(40)	(42)
臨時雇用者※	24	21	18	19	16	19
合計	138	140	141	143	143	150

※パート、嘱託、派遣

従業員平均年齢	37.0歳	37.4歳
---------	-------	-------

包装システムの市場創造型トータルプランナー ゼネラルパッカー株式会社

当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【IR窓口】 経営企画室 長谷川
〒481-8601
愛知県北名古屋市宇福寺神明65
電話:0568-23-3111
FAX:0568-22-3222
E-mail:info@general-packer.co.jp

